

愛南町津波避難計画

令和5年12月

愛媛県愛南町

目次

1	津波避難計画策定の目的	1
2	津波避難計画の範囲	1
3	津波避難計画の定期的かつ継続的な見直し	1
4	津波避難計画で対象とする津波	2
5	津波避難計画	3
	(1) 津波浸水想定区域	3
	(2) 避難対象地域	3
	(3) 避難困難地域	3
	(4) 緊急避難場所・避難路等	3
	(5) 初動体制	5
	(6) 避難誘導等に従事する者の安全確保	7
	(7) 津波情報の収集・伝達	8
	(8) 避難指示等の発令	9
	(9) 津波対策の教育・啓発	11
	(10) 避難訓練	15
	(11) その他の留意点	15
6	避難者収容計画	16
	(1) 計画の策定経緯	16
	(2) 想定する津波と津波浸水想定区域	16
	(3) 津波避難対象地区と避難者数の設定方法	16
	(4) 避難所の計画収容人数と地区ごとの避難先の考え方	17
	(5) 避難者収容計画	17

1 津波避難計画策定の目的

東日本大震災の教訓を踏まえて、国が設置した学識経験者等で構成する中央防災会議防災対策推進検討会議の報告（「津波避難対策検討ワーキンググループ報告（平成24年7月）」）では、今後の津波対策として、

- 主体的な避難行動の徹底
- 避難行動を促す情報の確実な伝達
- より安全な避難場所の確保
- 安全に避難するための計画の策定
- 主体的な行動を取る姿勢を醸成する防災教育等の推進

を着実に進めることが必要であるとされている。

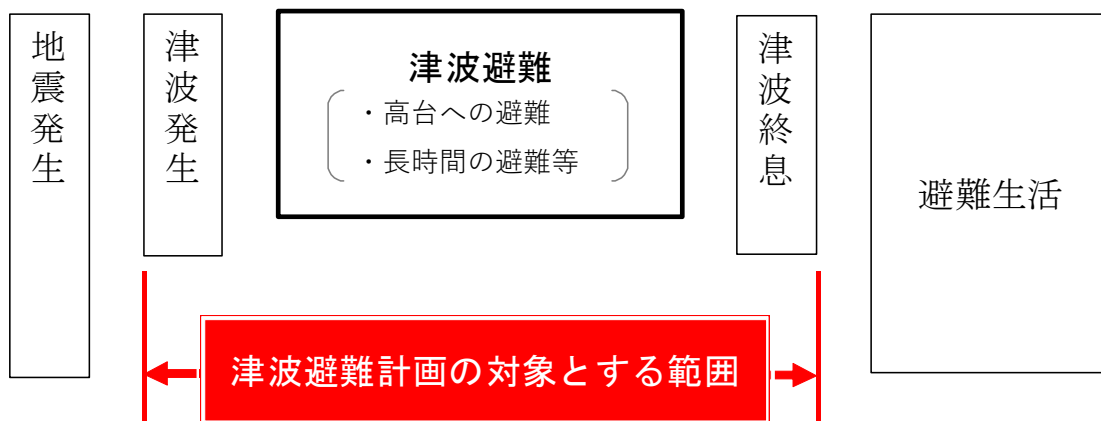
また、「愛媛県地震被害想定調査（平成25年12月）」においては、津波避難の迅速化により、津波による死者数が約9分の2に軽減できると試算している。

このようなことから愛南町（以下「町」という。）においては、避難対象地域、初動体制、避難指示等の発令等に関する考え方を取りまとめることとしたものである。

なお、この計画は、消防庁の「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書（平成25年3月）」を基本とし、中央防災会議の「南海トラフ巨大地震対策について（最終報告）（平成25年5月）」等で示された津波避難に関する考え方及び「愛媛県津波避難計画策定指針（平成27年3月）」を踏まえて作成している。

2 津波避難計画の範囲

この津波避難計画は、地震・津波の発生直後から津波が終息するまでの間、住民等の生命、身体の安全を確保するために、円滑な津波避難を行うための計画である。



3 津波避難計画の定期的かつ継続的な見直し

作成した津波避難計画は、津波避難訓練等で明らかになった課題等に応じて、定期的かつ継続的に見直しを行うこととする。

4 津波避難計画で対象とする津波

(1) 前提となる津波の想定

津波避難計画で対象とする津波は、最新の科学的知見に基づき、朔望平均満潮位^{*}の時期に地震動による地盤沈下、構造物の破壊等も起こることを含めた悪条件下での浸水想定としているが、決してこれ以上の津波が発生しないわけではないことを踏まえ、愛媛県地震被害想定調査（平成 25 年 3 月）において、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波（L2 津波）を想定とする。

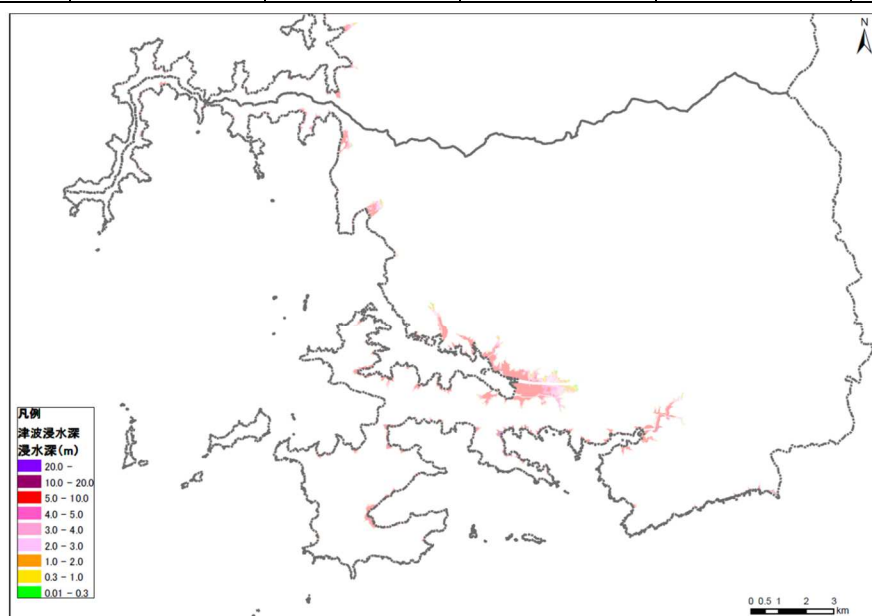
地震の想定	想定地震	南海トラフ巨大地震
	地震の規模	マグニチュード 9.1
	想定震度	震度 6 弱～7

(2) 最高津波水位、到達時間の想定

	最高津波水位	最短津波到達時間	
		津波高 1 m	最大津波水位
脇本地区	16.7m	14 分	35 分
深浦漁港	14.7m	17 分	37 分
柏崎漁港	9.2m	22 分	40 分
御荘港	9.0m	28 分	46 分
網代漁港	8.6m	24 分	38 分

(3) 浸水面積、最大浸水深の想定

浸水面積 (ha)					
1cm 以上	30cm 以上	1m 以上	2m 以上	5m 以上	10m 以上
788	771	737	677	456	23



この地図は、国土情報院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平25情保 第129号)

南海トラフ巨大地震の津波浸水想定（5 ケースの重ね合わせ）

【用語解説】朔望平均満潮位（さくぼうへいきんまんちょうい）

朔（新月）及び望（満月）の日から前 2 日後 4 日以内に観測された、各月の最高満潮面及び最低干潮面を 1 年以上にわたって平均した高さの水位をいう。

5 津波避難計画

津波避難計画において定める必要がある事項は次のとおりとする。

- (1) 津波浸水想定区域
- (2) 避難対象地域
- (3) 緊急避難場所等・避難路等
- (4) 初動体制
- (5) 避難誘導等に従事する者の安全確保
- (6) 津波情報の収集・伝達
- (7) 避難指示等の発令
- (8) 津波対策の教育・啓発
- (9) 避難訓練
- (10) その他の留意点

(1) 津波浸水想定区域

津波浸水想定区域は、愛媛県津波被害想定調査（平成 25 年 12 月）による区域とする。（下表）

内海地域	柏、柏崎、須ノ川、平簾、家串、油袋、魚神山、網代
御荘地域	御荘菊川、御荘平山、御荘長洲、御荘平城、御荘和口（和口第 1 の区域に限る。）、御荘深泥、防城成川、赤水、高畑、中浦、猿鳴
城辺地域	城辺甲（後 2、清水、沖 1、沖 2、松本、久保、鳥越、中原及び土居の区域に限る。）、久良、鮪越、古月、深浦、垣内、岩水、敦盛、柿ノ浦、大浜、中玉、脇本
一本松地域	満倉
西海地域	越田、弓立、小浦、檉月、船越、久家、下久家、樽見、大成川、小成川、福浦、麦ヶ浦、武者泊、外泊、中泊、内泊、鹿島

(2) 避難対象地域

避難対象地域は、避難指示を発令する際に対象となる地域であるため、津波浸水想定区域を基本とする。

(3) 避難困難地域

愛媛県津波被害想定調査（平成 25 年 12 月）により算出された津波到達時間までに浸水想定区域外に避難ができることから、避難困難地域は無いものとするが、津波避難訓練や地区津波避難計画において検証を行う。

(4) 緊急避難場所等・避難路等

ア 緊急避難場所の指定

町は指定緊急避難場所（津波一時避難場所）の指定に当たっては、予想される津波よりも大きな津波が発生する場合も考えられることから、津波の状況を確認でき、状況によってはさらに高台へ避難できる場所を基本とし指定する。

また、津波警報等の解除まで一晩以上かかる場合もあるため、指定緊急避難場所（津波一時避難場所）への防災倉庫の設置、テント等の整備を図る。

※ 津波一時避難場所の一覧表を巻末資料「津波一時避難場所一覧」に示す。

イ 津波避難ビルの指定

津波からの避難は、高台への避難が原則であるが、避難対象地域内に津波からの避難に適した建物がある場合には、津波避難ビルの指定に努めるものとし、避難場所として確保する場合には、管理協定の締結や指定をすること等により、いざという時に確実に避難できるような体制の整備に努めるものとする。

※ 津波避難ビルの一覧表を巻末資料「愛南町津波避難ビル一覧表」に示す。

ウ 避難路の指定

避難路は、緊急避難場所等まで最も短時間で、かつ安全に避難できる経路が望ましく、道路陥没等により通行できない場合を想定し、複数の避難路を確保するため、住民の避難開始場所から緊急避難場所や避難所等へ至る道路等を全て避難路とする。また、避難路の整備にあたっては、以下のことを十分に考慮するものとする。

- ・円滑な避難ができるよう避難誘導標識等を設置する。
- ・夜間の避難も考慮し、夜間照明等を整備する。
- ・階段、急な坂道等には手すり等を整備する。

エ 避難の方法

家屋の倒壊、落下物、道路の損傷、渋滞・交通事故等が発生する恐れがあることから、津波発生時の避難方法は、原則徒歩とする。

ただし、緊急避難場所等までの距離が相当ある場合や、要配慮者の避難支援にあたり、徒歩での避難が困難な場合は、自主防災組織等での車避難のルールを決め、訓練等でシミュレーションを行うとともに、避難に自動車を利用することが必要な人がいることを地域内で情報共有する。

強い揺れを感じたとき、又は弱い地震であっても長時間にわたる揺れを感じたときは、迷うことなく自主的に、周囲の人に声をかけながら高い場所に避難する。

特に、津波の危険が予想される地域の住民は、可能な範囲で出火防止措置を講じた後、直ちに自主的に安全な場所へ避難する。

また、外国人や旅行者等の一時滞在者に対し、災害・避難情報の提供に努め、確実な避難誘導を行う。

(5) 初動体制

災害対策本部設置前又は災害対策本部が設置されていない場合において、津波災害が発生し、又は発生する恐れがある場合に、愛南町地域防災計画及び愛南町災害対策本部規程並びに愛南町災害対策本部設置・運営マニュアルに基づき、次により体制を整える。

ア 配備基準

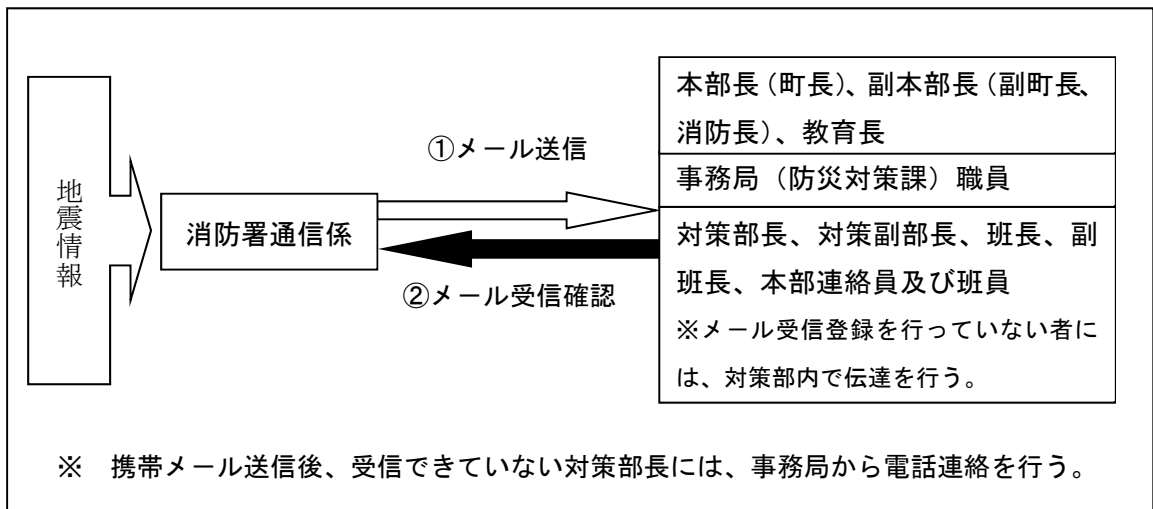
体制	基準	要員
第1 配備	1 町域に、震度3の地震が発生したとき。 2 津波注意報が発表されたとき。	消防本部職員
第2 配備	1 町域に、震度4の地震が発生したとき。 2 町域に、比較的軽微な規模の地震災害が発生したとき。 3 町域に、住民の生命及び身体に危険を及ぼす地震災害が発生するおそれがあるとき。 4 その他の状況により、本部長（町長）が必要と認めるとき。	1 消防本部職員 2 部長又は副部長 3 部が必要とする班長、本部連絡員及び部員
第3 配備	1 町域に、震度5弱又は震度5強の地震が発生したとき。 2 町域に、津波警報が発表されたとき。 3 町域に、住民の生命及び身体に危険を及ぼす地震災害が発生したとき又は大規模な地震災害が発生するおそれがあるとき。 4 その他の状況により、本部長（町長）が必要と認めるとき。	1 全消防職員 2 部長 3 副部長 4 部が必要とする班長、本部連絡員及び部員
第4 配備	1 町域に、震度6弱以上の地震が発生したとき。 2 町域に、大津波警報が発表されたとき。 3 町域に、広範囲にわたる大規模地震災害が発生したとき又は大規模地震災害の発生する事態が切迫しているとき。 4 その他の状況により、本部長（町長）が必要と認めるとき。	全職員

イ 配備区分

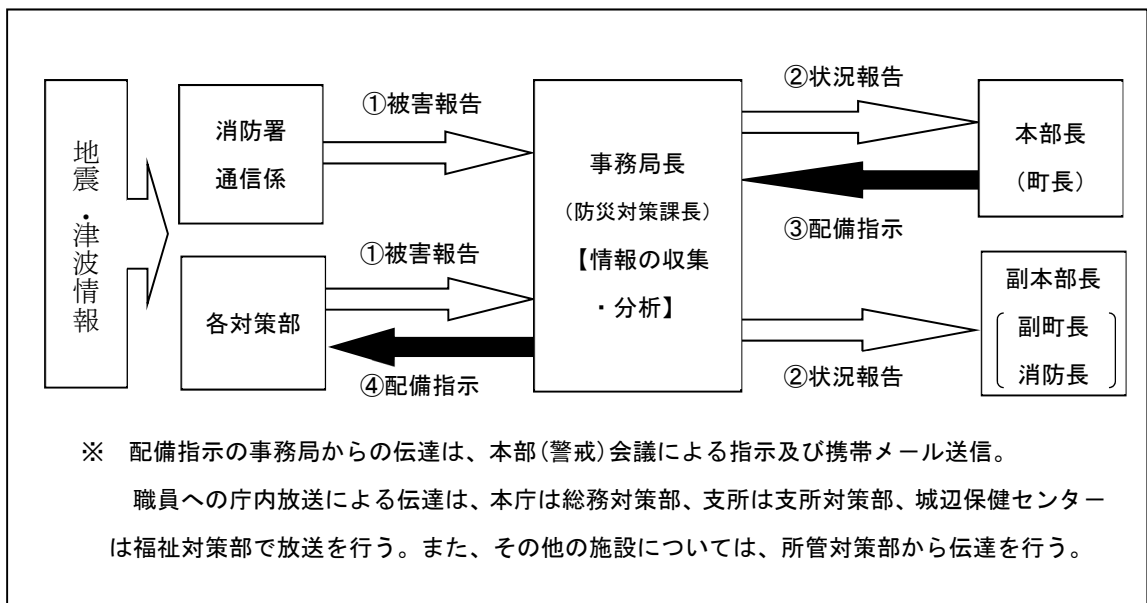
		第1 配備	第2 配備	第3 配備	第4 配備
		事前配備	警戒配備	非常配備	緊急非常配備
本部の設置		なし	災害対策本部		
職員参集伝達手段	勤務時間内	庁内メール、携帯メール、庁内放送、電話等			
	勤務時間外	携帯メール、防災行政無線、電話等	携帯メール、防災行政無線、電話、自ら判断して参集等		

ウ 情報伝達フロー

① 地震発生時及び津波予報・津波情報発表時の伝達フロー



② 災害対応時の伝達フロー



③ 災害対応時の伝達フロー

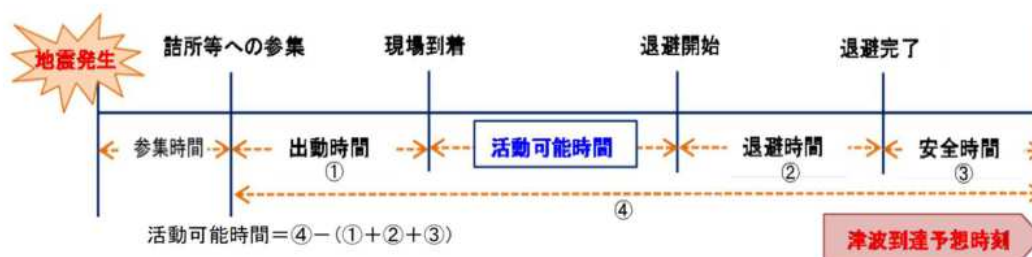
- ・職員は、勤務時間外において配備指令を受けたときは、直ちに参集する。
- ・職員は、電話が不通になる等、周囲の状況から大規模な災害が発生したと判断した場合には、配備指令を待たず、自ら参集する。
- ・職員は、交通機関の不通や道路の決壊等により参集できない場合、本人及び家族等に係る重大な被災があった場合には、所属する対策部の部長又は副部长若しくは班長に連絡し、その指示を受ける。

(6) 避難誘導等に従事する者の安全確保

町は、職員並びに消防職団員及び警察官等の防災対応や避難誘導・支援に当たる者の危険を回避し、安全を確保するため、これらの者の避難に要する時間に配慮した上で、津波到達予想時刻までの防災対策や避難誘導・支援に係る行動や退避の判断基準を定め、避難誘導等に従事する者に周知するものとする。

$$\text{活動可能時間} = \text{④} - (\text{①} + \text{②} + \text{③})$$

- ① 災害発生場所（地点）までの出動（移動）時間
- ② 災害発生場所から直近の安全退避場所への退避（移動）時間
- ③ 安全時間
(想定外の事案発生も含めて、安全確実に退避するための予備時間)
- ④ 津波到達予想時刻までの時間



※地震発生時にいる場所によっては、詰所等へ参集せず、そのまま避難誘導等を行う場合もある。

(7) 津波情報の収集・伝達

ア 津波情報等の収集

収集情報		収集項目	収集先及び手段
地震情報(余震情報を含む。)		○震度、規模、震源等情報	○町設置震度計 ○県衛星系防災行政無線 ○テレビ・ラジオ等マスコミ ○パソコン通信
		○二次災害防止情報	
津波予報・津波情報		○予報(津波注意報・津波警報・大津波警報)情報	○県衛星系防災行政無線 ○テレビ・ラジオ等マスコミ ○パソコン通信 ○自主防災組織、消防団等地区住民 ○衛星携帯電話
		○到達予想時刻、高さ等津波情報	
		○二次災害防止情報	
		○津波発生状況	
気象情報		○気象予警報	○消防対策部 ○県衛星系防災行政無線 ○テレビ・ラジオ、パソコン通信 ○LGWAN
		○土砂災害警戒情報、潮位観測情報等	
		○二次災害防止情報	
職員情報	配備状況	○職員配備の状況	○全対策部 ○被災職員
	被災職員情報	○被災職員及び家族の死傷、避難状況 ○被災職員の配備に関する状況	

イ 津波情報等の伝達

県と町の間の情報伝達は、県防災通信システム(地上系・衛星系)や県災害情報システムをはじめ多様な通信手段で行う。また、既存の通信手段が使用できない場合には、協定等に基づき民間通信各社から無償貸与される衛星携帯電話等を活用する。

住民への情報伝達に当たっては、通信施設・設備の被災状況に応じて、次の手段を併用して実施する。

なお、町は、情報の伝達手段の多重化・多様化に努め、住民への適切かつ迅速な情報伝達を行う。

通信施設・設備の軽微な被災時	通信施設・設備の大規模被災時
<ul style="list-style-type: none"> ○携帯メール ○電話 ○ファクシミリ ○パソコン通信 ○Lアラート ○町防災行政無線 ○I P告知端末機 ○消防無線 ○県防災行政無線 ○庁内放送 ○広報・消防車両 ○地区放送設備 ○掲示板 ○職員の派遣 ○総合案内所及び相談所の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○衛星携帯電話 ○災害時優先電話 ○広報・消防車両 ○掲示板 ○職員の派遣 ○総合案内所及び相談所の開設 ○放送局に対する放送要請 ○他機関専用通信設備 ○近隣市町防災行政無線 ○アマチュア無線設備

ウ 情報伝達手段の整備

町は、様々な環境下にある住民や職員等に対して、津波警報等が確実に伝わるよう、関係事業者の協力を得つつ、防災行政無線及びI P告知端末機、全国瞬時警報システム（J-A L E R T）、Lアラート（災害情報共有システム）、インターネット（ホームページ、フェイスブック等）、登録制メール、テレビ、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、携帯電話（緊急速報メール機能を含む。）等を用いた伝達手段の多重化、多様化を図るものとする。

（8）避難指示等の発令

津波は、20 cmから30 cm程度の高さであっても、急で強い流れが生じるため、これに巻き込まれて流されれば、命を脅かされる可能性があることから、大津波警報・津波警報・津波注意報のいずれかが発表された場合は、避難情報の発令対象とする。

ア 避難指示等を発令する基準

どのような津波であれ、危険な地域からの一刻も早い避難が必要であることから、高齢者等避難は発令せず、基本的には避難指示のみを発令する。また、緊急安全確保は基本的には発令しない。さらに、災害の切迫度が段階的に上がる災害ではないことから、津波に係る避難情報には警戒レベルを付さない。

ただし、遠地地震に伴う津波の場合は、到達までに相当の時間があるものについては、気象庁が、津波警報等が発表される前から津波の到達予測時刻等の情報を「遠地地震に関する情報」の中で発表する場合があるため、「遠地地震に関する情報」の後に津波警報等が発表される可能性がある場合は、津波警報等の発表前であっても、必要に応じて高齢者等避難の発令を検討する。県と町の間の情報の伝達は、県防災通信システム（地上系・衛星系）や県災害情報システムをはじめ多様な通信手段で行う。また、既存の通信手段が使用できない場合には、協定等に基づき民間通信各社等から無償貸与される衛星携帯電話等を活用する。

情報区分	発令基準
避難指示	<p>1：愛媛県宇和海沿岸に大津波警報、津波警報、津波注意報が発表された場合 (ただし、避難指示の発令対象が異なる。)</p> <p>2：停電、通信途絶等により、津波警報等を適時に受けることができない状況において、強い揺れを感じた場合、あるいは、揺れは弱くとも1分程度以上の長い揺れを感じた場合</p>

イ 具体的な情報伝達例（津波災害）

津波注意報発表時の避難指示の伝達文の例

① 防災行政無線（屋外拡声子局、個別受信機、IP告知端末）

こちらは防災愛南町役場です。
愛媛県宇和海沿岸に津波注意報が発表されました。
海岸付近の方や河口近くの方に、避難指示を発令します。
海の中や沿岸部の方、河口近くの方は危険です。直ちに海岸から離れて安全な場所に避難してください。
こちらは、防災愛南町役場でした。

② メール（緊急速報メール、防災メール、SNS、Yahoo!防災 等）

【タイトル】 避難指示（津波注意報発表）

【本文】

こちらは愛南町です。
愛媛県宇和海沿岸に津波注意報が発表されたため、海岸付近の方や河口近くの方に、避難指示を発令します。
海の中や沿岸部の方、河口近くの方は危険です。直ちに海岸から離れて安全な場所に避難してください。

③ 防災行政無線（屋外拡声子局、個別受信機、IP告知端末）

《サイレン吹鳴》

こちらは防災愛南町役場です。
愛媛県宇和海沿岸に津波警報（大津波警報）が発表されたため、沿岸部（及び市街地）に避難指示を発令しました。
直ちに高台へ、避難せよ。
直ちに高台へ、避難せよ。
直ちに高台へ、避難せよ。
こちらは、防災愛南町役場でした。

④ メール（緊急速報メール、防災メール、SNS、Yahoo!防災 等）

【タイトル】避難指示（津波警報（大津波警報）発表）

【本文】

こちらは愛南町です。

愛媛県宇和海沿岸に津波警報（大津波警報）が発表されたため、沿岸部（及び市街地）に避難指示を発令しました。

ただちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所に緊急に避難してください。

（9）津波対策の教育・啓発

ア 町職員に対する教育

町は、職員が日常の業務を通じ的確で円滑な津波防災対策を推進するとともに、地域における防災活動を率先して実施できるよう、次の事項について、研修会等を通じ職員教育を行う。

- ① 津波に関する基礎知識
- ② 町地域防災計画（津波災害対策編）と津波防災対策に関する知識
- ③ 津波警報等を覚知したときの具体的に取るべき行動に関する知識
- ④ 津波が発生した場合に、具体的に取るべき行動に関する知識（初動マニュアル）
- ⑤ 職員として果たすべき役割（災害対策本部の組織、動員体制及び任務分担）
- ⑥ 家庭及び地域における津波防災対策
- ⑦ 家庭の津波対策と自主防災組織の育成強化対策の支援
- ⑧ 津波対策の課題その他必要な事項

なお、上記③、④及び⑤については、毎年度、所属職員に対し、十分周知しておく。

また、各部局等は、所管事項に関する津波防災対策について、それぞれが定めるところにより所属職員の教育を行う。

さらに、専門的知識を有する防災担当職員の育成に努める。

イ 教職員、児童・生徒等に対する教育

将来の災害に立ち向かう今の子どもたちが、自分自身を守りお互いに助け合っていける力を育むために、学校における体系的な防災教育の実施及び防災教育のための指導時間の確保等、防災に関する教育の充実に努め、児童生徒等が津波に関する基礎的・基本的な事項を理解し、思考力・判断力を高め、自ら危険を予測し、主体的に行動する態度を育成するよう安全教育等の指導を徹底する。

また、学校において、外部の専門家や保護者等と協力しながら「愛媛県学校安全の手引き」（県教育委員会編）等を基に、学校安全計画及び災害に関する必要な事項（防災組織・役割分担等）を定めたマニュアルを作成する。

さらに、学校、地域、家庭が連携・協力し合って地域社会全体で防災力を向上させていく必要があることから、学校現場のみならず地域と一体となった防

災教育を推進する。

- ① 教育委員会は、町職員に準じて教職員への教育を指導するとともに、町と連携した地域ぐるみの防災教育の総合的な調整を行う。
- ② 学校においては、学校安全計画に災害に関する必要な事項（防災組織、分担等）を定め、児童・生徒等が津波災害に関する基礎的・基本的事項を理解し、思考力、判断力を高め、適切な行動ができるよう次のように防災教育を行う。

- (ア) 関連する教科、特別活動等において、児童・生徒等の発達の段階を考慮しながら教育活動全体を通じて、津波に関する基礎知識を習得させるとともに、津波発生時の対策（避難場所、避難経路、避難方法の確認）の周知徹底を図る。
- (イ) 住んでいる地域の特徴や過去の自然災害等について継続的な防災教育に努める。
- (ウ) 中学校等の生徒を対象に、応急手当等の実践的・技能習得の指導を行うとともに、地域の防災活動や災害時のボランティア活動の大切さについて理解を深めさせる。高等学校段階の生徒には、地域の防災活動や災害発生時のボランティア活動にも参加できるような態度を育てる。
- (エ) 学校教育はもとより、様々な場での総合的な教育プログラムを教育の専門家や現場の実務者等の参画の下で開発するなどして、津波災害と防災に関する理解向上に努める。

ウ 住民に対する防災知識の普及

① 一般住民に対する啓発

(I) 啓発の内容

(ア) 津波に関する基礎知識

- ・地震による揺れを感じにくい場合でも、大津波警報を見聞きしたら速やかに避難すること、標高の低い場所や沿岸部にいる場合など、自らの置かれた状況によっては、津波警報でも避難する必要があること、海岸保全施設等よりも海側にいる人は、津波注意報でも避難する必要があること
- ・津波の第一波は引き波だけでなく押し波から始まることもあること
- ・第一波よりも、第二波、第三波等の後続波の方が大きくなる可能性、数時間から場合によっては一日以上にわたり津波が継続する可能性があること
- ・強い揺れを伴わず、危険を体感しないままに押し寄せる、いわゆる津波地震や遠地津波の発生の可能性 等

(イ) 津波警報等に関する知識

(ウ) 津波が発生した場合に、具体的にとるべき行動に関する知識

- ・沿岸部はどこでも津波が襲来する可能性があり、強い地震（震度4程度）を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、迷うことなく迅速かつ自主的にできるだけ高い場所に避難すること
- ・避難に当たっては徒歩によることを原則とすること

- ・自ら率先して避難行動を取ることが他の地域住民の避難を促すこと 等
- (エ) 防災関係機関等が講じる津波防災対策等に関する知識
- (オ) 地域や事業所における自主防災活動に関する知識
- (カ) 津波浸水予測範囲等に関する知識
- (キ) 津波想定の不確実性
 - ・津波は自然現象であり、想定を超える可能性があること
 - ・特に地震発生直後に発表される津波警報等の精度には一定の限界があること
- ・避難場所の孤立や避難場所自体の被災も有り得ること
- ・津波想定の数値等の正確な意味の理解の促進を図る 等
- (ク) 避難場所、避難所、避難路、その他避難対策に関する知識
- (ケ) 非常持出品の準備、家具・ブロック塀等の転倒防止対策、自動車へのこまめな満タン給油等、家庭における防災対策に関する知識
- (コ) 応急手当等看護に関する知識
- (サ) 避難生活に関する知識
- (シ) 要配慮者や性別、性的マイノリティ（LGBTI 等）のニーズの違い等に関する知識
- (ス) コミュニティ活動及び自主防災組織の活動に関する知識
- (セ) 早期自主避難の重要性に関する知識
- (ソ) 防災士の活動に関する知識
- (タ) あらゆる世代の個人、組織等が連携・協力し合う地域防災力向上に関する知識
- (チ) 南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件

(Ⅱ) 啓発の方法

- (ア) 広報あいなん及び防災だよりの活用
- (イ) パンフレット、ポスター等の利用
- (ウ) テレビ、ラジオ、新聞等の活用
- (エ) 映画、資料映像等の利用
- (オ) 講演会、講習会、ワークショップの実施
- (カ) 防災訓練、防災学習会の実施
- (キ) インターネット（ホームページ等）の活用
- (ク) 総合防災マップ等の利用
- (ケ) 視覚的周知

・過去の災害時や今後予想される津波による浸水域や浸水高、指定緊急避難場所（津波一時避難場所）・津波避難ビル等や避難路・避難階段の位置等をまちの至る所に示すことや、蓄光石やライトを活用して夜間でも分かりやすく誘導できるよう表示する等、住民が日常の生活の中で、常に津波災害の危険性を認知し、円滑な避難ができるような取組を行う。なお、浸水高等の「高さ」をまちの中に示す場合には、過去の津波災害時の実績水位を示すのか、あるいは予測値を示すのか、数値が海拔なのか、浸水高なのか等について、住民等に分かりやすく示すよう留意する。

② 社会教育を通じた啓発

町及び教育委員会は、公民館、PTA、女性団体、青少年団体等を対象とした各種研修会、集会等を通じて津波に関する知識の普及・啓発を図り、各団体の構成員がそれぞれの立場から地域の防災に寄与する意識の向上に努める。

(Ⅰ) 啓発の内容

住民に対する一般啓発に準ずるほか、各団体の性格等に合わせた内容とする。

(Ⅱ) 啓発の方法

各種講座・学級、集会、大会、学習会、研修会等において実施する。また、文化財を津波災害から守り、後世に継承するため、文化財巡視活動、文化財保護強調週間や文化財防火デーの実施等の諸活動を通じ、防災指導を行い、防災知識の普及を図る。

③ 各種団体を通じての啓発

町は、各種団体に対し、研修会、講演会、資料映像等の貸出し等を通じて津波に関する災害知識の普及に努め、各団体構成員の防災知識の普及を促進させる。

④ 「えひめ防災の日」及び「えひめ防災週間」における啓発

「えひめ防災の日（12月21日）」を含む「えひめ防災週間（12月17日～12月23日までの一週間）」においては、県が実施する事業と連携を図りなが

ら、住民への防災に関する啓発に努める。

(10) 避難訓練

津波災害に対して、各防災機関が相互に緊密な連携を保ちながら、災害応急対策について、職員の安全確保を図りつつ、迅速かつ適切に実施できるよう職員の知識・技能の向上と住民に対する防災意識の高揚を図るため、図上又は実地で総合的かつ計画的な訓練を実施する。

その際、自衛隊、海上保安部等国の機関の協力を得るとともに、水防協力団体、学校、自主防災組織、愛媛県非常通信協議会、民間企業、ボランティア団体及び要配慮者を含めた地域住民等とも連携した訓練を実施する。

訓練の実施に当たっては、訓練の目的を具体的に設定した上で、地震及び被害の想定を明らかにし、沿岸地域や中山間地域における孤立地区の発生など地域の実状も考慮しながら、訓練参加者、使用する資機材及び実施時間等の訓練環境等について具体的な設定を行い、参加者自身の判断も求められる内容を盛り込むなど実践的なものとなるよう工夫する。

さらに、災害対応業務に習熟するための訓練に加え、課題を発見する訓練の実施にも努めるほか、訓練のシナリオに緊急地震速報を取り入れる等、地震発生時の対応行動の習熟を図るよう努める。この際、各機関の救援活動等の連帯強化に留意する。

また、訓練後は事後評価を行い、課題等を明らかにし、必要に応じた改善を行い、次回からの訓練に反映させる。

津波災害を想定した訓練の実施に当たっては、最も早い津波の到達予測時間や最大クラスの津波の高さを踏まえ、通信手段が被災した場合の代替手段による情報伝達や、声かけやサイレン等により周囲の行動を促す訓練、より高台を目指す二段階避難の実施等、具体的かつ実践的な訓練を行うよう努める。

定期的な防災訓練を、夜間等様々な条件に配慮し、居住地、職場、学校等においてきめ細かく実施又は行うよう指導し、住民の津波発生時の避難行動、基本的な防災用資機材の操作方法等の習熟を図るものとする。

また、避難訓練を繰り返し実施することにより、避難行動を個々人に定着させるよう工夫するものとする。

(11) その他の留意点

ア 観光客、海水浴客、釣り客等の避難対策

津波警報、避難指示（緊急）等の伝達に当たっては、走行中の車両、運行中の列車、船舶、海水浴客、釣り人、観光客等にも確実に伝達できるよう、防災行政無線及びIP告知端末機、全国瞬時警報システム（J-ALERT）、Lアラート（災害情報共有システム）、インターネット（ホームページ、フェイスブック等）、登録制メール、テレビ、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、携帯電話（緊急速報メール機能を含む。）等のあらゆる手段の活用を図る。

イ 要配慮者の避難対策

町及び社会福祉施設管理者は、外国人（旅行者等含む）も含めた要配慮者の安全を確保するため、地域住民、自主防災組織、民生委員・児童委員、介護保険事業者、障害福祉サービス事業者、ボランティア等の多様な主体の協力を得ながら、平常時から要配慮者に関する情報の把握及び関係者との共有や情報伝達体制を整備する。また、町の防災担当部局と福祉担当部局等が連携して、避難行動要支援者の避難支援計画の策定等避難誘導體制の整備、適切な避難行動に関する理解の促進、避難訓練の実施を図る。

6 避難者収容計画

(1) 計画の策定経緯

町では、地域防災計画等により避難体制の整備を図っている一方、指定避難所ごとの避難元地区を定めておらず、災害が発生した場合は混乱が生じることが想定されるため、南海トラフ地震による津波と南海トラフ地震臨時情報発表時における迅速かつ円滑な避難を行うために避難者収容計画を策定した。避難者収容計画は、南海トラフ地震による津波（L1、L2）及び南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時において、避難すべき地域・地区（避難計画対象地区）を設定した上で、対象地区において想定される避難者数を基に指定避難所への収容計画を策定したものである。

(2) 想定する津波と津波浸水想定区域

避難者収容計画で想定する津波は、最大クラスの津波（L2津波）、比較的発生頻度の高い津波（L1津波）、臨時情報（巨大地震警戒）発表時の3シナリオを想定し、シナリオごとに津波浸水被害が想定される地区をシミュレーションした。

ア 最大クラスの津波（L2津波）

発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波。

イ 比較的発生頻度の高い津波（L1津波）

最大クラスの津波に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（数十年から百数十年の頻度）。

ウ 臨時情報（巨大地震警戒）発表時

地震発生後の避難では間に合わない恐れがある事前避難対象地域（30cm以上の浸水が地震発生から30分以内に生じる地域）が対象。

(3) 津波避難対象地区と避難者数の設定方法

津波浸水想定区域データと行政区境界データを重ね合わせ、津波浸水被害が予想される地区を抽出した。そして、地区ごとの避難想定者人数は津波浸水想定区域データと航空写真を重ね合わせ、地区ごとの建物密集地における浸水割合を算出し、地区ごとの人口に乗じて設定することとした。人口データは住民基本台帳

(令和5年9月1日)を使用した。

(4) 避難所の計画収容人数と地区ごとの避難先の考え方

各津波発生時に津波浸水被害を受けない利用可能な指定避難所を整理するために、津波浸水想定区域と指定避難所を地図上で重ね合わせ、津波浸水被害を受けない避難所を抽出した。

各避難所の計画収容人数については、各避難所の建築図面を用い建物内で実際に利用できる有効面積を算出し、1人当たりの利用面積を2m²とし、避難所ごとの計画収容人数を算出した。

そして、地区ごとの避難先は地域単位で最寄りの指定避難所へ避難することを前提に設定した。

(5) 避難者収容計画

各津波発生時における地域ごとの避難者収容計画を下表に示す。また、表に加え地区ごとの避難者収容計画を地図上に示した図を巻末資料「避難者収容計画図」に示す。

なお、過不足がマイナスとなる施設（計画収容人数に対して避難者人数が多い施設）は、今後の地区避難計画及び個別避難所運営マニュアル等の作成を行っていくうえで併せて検討を行っていく。

ア 最大クラスの津波（L2津波）

（単位：人）

地域	避難対象地区				避難先				
	No	地区名	人口	避難者人数	No	避難先	計画収容人数※1	避難者人数	過不足※2
内海	1	① 網代	74	44	L	一本松小学校	595	330	265
	2	② 魚神山	146	87					
	3	③ 油袋	119	59					
	4	④ 家串	175	140					
	5	⑤ 平壱	160	80	M	一本松交流促進センター	804	541	263
	6	⑥ 須ノ川	139	97					
	7	⑦ 柏崎	99	79					
	8	⑧ 柏	476	285					
御荘	1	① 菊川第1	67	33	B	菊川公民館	68	42	26
	2	② 菊川第2	97	9	A	旧菊川小学校	383	321	62
	3	③ 菊川第3	110	88					
	4	④ 菊川第4	114	79					
	5	⑤ 平山	257	154					
	6	⑥ 長洲	154	138	E	長月小学校	560	565	-5
	7	⑦ 長崎	427	427					
	8	⑧ 貝塚	231	207	C	平城小学校	1,111	1,057	54
	9	⑨ 八幡野	226	135					
	10	⑩ 本町	154	154					
	11	⑪ 寺新町	176	52					
	12	⑫ 馬瀬	448	403	D	南宇和高校	1,665	1,645	20
	13	⑬ 上町	170	170					
	14	⑭ 馬場	282	56					
	15	⑮ 下永ノ岡	364	291					
	16	⑯ 上永ノ岡	114	0	G	城辺中学校	1,138	645	493
	17	⑰ 節崎	363	290					
	18	⑱ 和口第1	123	0					
	19	⑲ 防城成川	82	24					
	20	⑳ 赤水	188	112	F	城辺小学校	1,150	1,039	111
	21	㉑ 高畑	129	103					
	22	㉒ 尻貝	119	95					
	23	㉓ 奥の谷	189	151					
	24	㉔ 中の谷	66	46	H	城の辺学習館	199	124	75
	25	㉕ 高手	116	69					
	26	㉖ 灘前	38	22					
	27	㉗ 左右水	29	14					
	28	㉘ 猿鳴	23	9	J	あいなん幼稚園	212	230	-18
	29	㉙ 後2	45	18					
	30	㉚ 後3	62	6					
31	㉛ 清水	83	8						
32	㉜ 沖1	19	19	K	久良小学校	499	599	-100	
33	㉝ 沖2	130	130						
34	㉞ 中原	254	254						
35	㉟ 土居	241	24						
36	㊱ 脇本	44	39	N	旧満倉小学校	349	151	198	
37	㊲ 中玉	15	15						
38	㊳ 大浜	7	4						
39	㊴ 柿ノ浦	10	10						
40	㊵ 敦盛	46	46	O	西海保健福祉センター	200	116	84	
41	㊶ 岩水	218	218						
42	㊷ 垣内	134	134						
43	㊸ 鋪越	83	74						
44	㊹ 古月	40	40	Q	船越小学校	595	454	141	
45	㊺ 松本	292	58						
46	㊻ 久保	64	51						
47	㊼ 鳥越	77	15						
48	㊽ 東浜	104	104	P	旧西海中学校	949	823	126	
49	㊾ 中組	29	23						
50	㊿ 奥前	157	15						
51	㊽ 西浜	36	36						
52	㊾ 鼻前	52	52	R	久良小学校	499	599	-100	
53	㊿ 日土	112	100						
54	㊽ 大寿浦	103	92						
55	㊾ 真浦	67	67						
56	㊿ 西真浦	122	109	S	旧満倉小学校	349	151	198	
57	㊽ 新浦	231	231						
58	㊾ 滴倉	189	151						
59	㊿ 越田	32	32						
一本松	1	① 越田	32	32	O	西海保健福祉センター	200	116	84
	2	② 弓立	41	32					
	3	③ 小浦	25	25					
	4	④ 櫻月	27	27					
	5	⑤ 船越	316	284	Q	船越小学校	595	454	141
	6	⑥ 久家	109	109					
	7	⑦ 下久家	61	61					
	8	⑧ 榊見	68	54					
9	⑨ 大成川	45	40	P	旧西海中学校	949	823	126	
10	⑩ 小成川	56	44						
11	⑪ 福浦	475	380						
12	⑫ 妻ヶ浦	28	28						
13	⑬ 武者泊	75	75	R	久良小学校	499	599	-100	
14	⑭ 外泊	52	46						
15	⑮ 中泊	146	73						
16	⑯ 内泊	83	83						

※1

避難所の建築図面を用い、建物内で実際に利用できる有効面積を算出し、1人当たりの利用面積を2m²とし、収容人数を算出したものである。

※2

なお、過不足がマイナスとなる施設（計画収容人数に対して避難者人数が多い施設）は、今後の地区避難計画及び個別避難所運営マニュアル等の作成を行っていくうえで併せて検討を行っていく。

合計	
計画収容人数	10,477
避難者人数	8,682
過不足	1,795

イ 比較的発生頻度の高い津波（L1津波）

（単位：人）

地域	避難対象地区				避難先										
	No		地区名	人口	避難者人数	No	避難先	計画収容人数※1	避難者人数	過不足※2					
内海	1	①	網代	74	44	L	一本松小学校	595	330	265					
	2	②	魚神山	146	87										
	3	③	油袋	119	59										
	4	④	家串	175	140										
	5	⑤	平瀨	160	80	M	一本松交流促進センター	804	541	263					
	6	⑥	須ノ川	139	97										
	7	⑦	柏崎	99	79										
	8	⑧	柏	476	285										
御荘	1	①	菊川第1	67	33	B	菊川公民館	68	42	26					
	2	②	菊川第2	97	9										
	3	③	菊川第3	110	44	A	旧菊川小学校	383	203	180					
	4	④	菊川第4	114	57										
	5	⑤	平山	257	102	E	長月小学校	560	448	112					
	6	⑥	長洲	154	107										
	7	⑦	長崎	427	341										
	8	⑧	貝塚	231	161										
	9	⑨	八幡野	226	22	C	平城小学校	1,111	591	520					
	10	⑩	本町	154	61										
	18	⑪	馬瀬	448	268										
	20	⑫	深泥	133	79										
	12	⑬	栄町	838	754	D	南宇和高校	1,665	899	766					
	13	⑭	上町	170	0										
	15	⑮	下永ノ岡	364	0										
	17	⑯	節崎	363	145										
	21	⑰	防城成川	82	16	G	城辺中学校	1,138	529	609					
	22	⑱	赤水	188	94										
	23	⑲	高畑	129	90										
	24	⑳	尻貝	119	71										
	25	㉑	奥の谷	189	132										
	26	㉒	中の谷	66	39										
	27	㉓	高手	116	58										
	28	㉔	灘前	38	15										
	29	㉕	左右水	29	8										
	30	㉖	猿鳴	23	6										
	城辺	7	①	久保	64	6	H	城の辺学習館	199	6	193				
		11	②	脇本	44	8	I	東海公民館中玉分館	73	17	56				
		12	③	中玉	15	9									
		13	④	大浜	7	2	F	城辺小学校	1,150	430	720				
14		⑤	柿ノ浦	10	8										
15		⑥	敦盛	46	36										
16		⑦	岩水	218	174										
17		⑧	垣内	134	120										
23		⑨	鱈越	83	58										
24		⑩	古月	40	32										
18		⑪	東浜	104	93										
19		⑫	中組	29	23	J	あいなん幼稚園	212	205	7					
20		⑬	奥前	157	7										
21		⑭	西浜	36	36										
22		⑮	鼻前	52	46										
25		⑯	日土	112	78	K	久良小学校	499	472	27					
26	⑰	大寿浦	103	72											
27	⑱	真浦	67	53											
28	⑲	西真浦	122	85											
29	⑳	新浦	231	184	N	旧満倉小学校	349	113	236						
一本松	1	①	満倉	189	113	O	西海保健福祉センター	200	96	104					
	1	①	越田	32	25										
	2	②	弓立	41	28										
	3	③	小浦	25	22										
	4	④	樫月	27	21										
	5	⑤	船越	316	221										
	6	⑥	久家	109	87										
	7	⑦	下久家	61	54										
	13	⑧	武者泊	75	45						R	福浦公民館武者泊分館	84	45	39
	8	⑨	樽見	68	47						P	旧西海中学校	949	641	308
	9	⑩	大成川	45	36										
	10	⑪	小成川	56	44										
	11	⑫	福浦	475	332										
	12	⑬	麦ヶ浦	28	22										
	14	⑭	外泊	52	36										
	15	⑮	中泊	146	58										
16	⑯	内泊	83	66											
西海	1	①	越田	32	25	O	西海保健福祉センター	200	96	104					
	2	②	弓立	41	28										
	3	③	小浦	25	22										
	4	④	樫月	27	21										
	5	⑤	船越	316	221										
	6	⑥	久家	109	87										
	7	⑦	下久家	61	54										
	13	⑧	武者泊	75	45						R	福浦公民館武者泊分館	84	45	39
	8	⑨	樽見	68	47						P	旧西海中学校	949	641	308
	9	⑩	大成川	45	36										
	10	⑪	小成川	56	44										
	11	⑫	福浦	475	332										
	12	⑬	麦ヶ浦	28	22										
	14	⑭	外泊	52	36										
	15	⑮	中泊	146	58										
	16	⑯	内泊	83	66										

※1

避難所の建築図面を用い、建物内で実際に利用できる有効面積を算出し、1人当たりの利用面積を2m²とし、収容人数を算出したものである。

※2

なお、過不足がマイナスとなる施設（計画収容人数に対して避難者人数が多い施設）は、今後の地区避難計画及び個別避難所運営マニュアル等の作成を行っていくうえで併せて検討を行っていく。

合計	
計画収容人数	10,074
避難者人数	5,970
過不足	4,104

ウ 臨時情報（巨大地震警戒）発表時 （単位：人）

地域	避難対象地区				避難先				
	No	地区	人口	避難者人数	No	避難先	計画収容人数※1	避難者人数	過不足※2
内海	1	① 網代	74	74	L	一本松小学校	595	514	81
	2	② 魚神山	146	146					
	3	③ 油袋	119	119					
	4	④ 家串	175	175					
	5	⑤ 平婆	160	160	M	一本松交流促進センター	804	874	-70
	6	⑥ 須ノ川	139	139					
	7	⑦ 柏崎	99	99					
	8	⑧ 柏	476	476					
御荘	18	① 馬瀬	448	448	C	平城小学校	1111	448	663
	21	② 防城成川	82	82	G	城辺中学校	1138	979	159
	22	③ 赤水	188	188					
	23	④ 高畑	129	129					
	24	⑤ 尻貝	119	119					
	25	⑥ 奥の谷	189	189					
	26	⑦ 中の谷	66	66					
	27	⑧ 高手	116	116					
	28	⑨ 灘前	38	38					
	29	⑩ 左右水	29	29					
	30	⑪ 猿鳴	23	23					
	城辺	11	① 脇本	44					
12		② 中玉	15	15					
13		③ 大浜	7	7					
14		④ 柿ノ浦	10	10					
15		⑤ 敦盛	46	46					
16		⑥ 岩水	218	218					
17		⑦ 垣内	134	134					
23		⑧ 鱒越	83	83					
24		⑨ 古月	40	40					
18		⑩ 東浜	104	104	J	あいなん幼稚園	212	378	-166
19		⑪ 中組	29	29					
20		⑫ 奥前	157	157					
21		⑬ 西浜	36	36					
22		⑭ 鼻前	52	52					
25		⑮ 日土	112	112					
26		⑯ 大寿浦	103	103					
27		⑰ 真浦	67	67					
28		⑱ 西真浦	122	122					
29		⑲ 新浦	231	231					
一本松	1	① 満倉	189	189	N	旧満倉小学校	349	189	160
西海	1	① 越田	32	32	O	西海保健福祉センター	200	125	75
	2	② 弓立	41	41					
	3	③ 小浦	25	25					
	4	④ 樫月	27	27					
	5	⑤ 船越	316	316	Q	船越小学校	595	486	109
	6	⑥ 久家	109	109					
	7	⑦ 下久家	61	61					
	8	⑧ 樽見	68	68					
	9	⑨ 大成川	45	45	P	旧西海中学校	949	1028	-79
	10	⑩ 小成川	56	56					
	11	⑪ 福浦	475	475					
	12	⑫ 妻ヶ浦	28	28					
	13	⑬ 武者泊	75	75					
	14	⑭ 外泊	52	52					
	15	⑮ 中泊	146	146					
	16	⑯ 内泊	83	83					

※1

避難所の建築図面を用い、建物内で実際に利用できる有効面積を算出し、1人当たりの利用面積を2m²とし、収容人数を算出したものである。

※2

なお、過不足がマイナスとなる施設（計画収容人数に対して避難者人数が多い施設）は、今後の地区避難計画及び個別避難所運営マニュアル等の作成を行っていくうえで併せて検討を行っていく。

合計	
計画収容人数	7,602
避難者人数	6,253
過不足	1,349

卷末資料

【目次】

1	津波一時避難場所一覧	22
2	愛南町津波避難ビル一覧	28
3	避難者収容計画図	29
4	避難者収容施設一覧	32

津波一時避難場所（令和4年3月4日現在）

地域名	地区名	No.	名称	所在地	路線名等	海拔（m）	
内海	網代	1	本網代墓地	網代124番地		20.3	
		2	本谷県道高台	網代330番地付近	県道網代鳥越線	19.3	
		3	町道荒樫2号線-中腹	網代511番地2	町道荒樫2号線	27.8	
	魚神山	4	魚神山小学校上-県道	魚神山152番地2付近	県道網代鳥越線	23.1	
		5	西泊お堂	魚神山431番地		39.5	
		6	金毘羅神社	魚神山685番地		23.7	
		7	走下県道高台	魚神山1158番地付近	県道網代鳥越線	27.5	
		8	船越運河バス停	魚神山1656番地付近	県道網代鳥越線-町道船越線起点	21.5	
	油袋	9	油袋墓地	油袋369番地		(揭示板上の墓地最上部)	19.9
		10	油袋中里道奥（旧水源地）	油袋431番地付近			21.7
		11	油袋県道広場	油袋546番地1付近	県道網代鳥越線		27.7
		12	上の谷	油袋289番地付近			20.0
		13	油袋-火打バス停中間県道	油袋554番地1	県道網代鳥越線		26.8
		14	火打バス停下墓地	油袋643番地	町道火打線起点		19.1
	家串	15	県道高台（農道入口付近）	家串333番地付近	県道網代鳥越線		25.2
		16	農道中腹	家串681番地1	農道西ノ谷線-高台		19.7
		17	荒神さま	家串793番地			26.2
		18	寺上	家串944番地			29.4
		19	家串東	家串1114番地付近			20.0
		20	家串小学校上畑	家串1209番地3付近		(舗装道最上部)	20.0
	平簗	21	平簗展望台（こんぴら山）	平簗614番地			33.6
		22	県道-町道元越線分岐付近	平簗717番地10	県道網代鳥越線-町道元越線起点		19.5
		23	若宮神社	平簗611番地		(神社裏手倉庫前)	19.5
		24	猪ノ泊	平簗95番地付近			20.5
	須ノ川	25	須の川若宮神社	須の川250番地	町道中曽根線-太場線分岐点付近		29.4
		26	町道中ノ谷線-高台	須ノ川989番地2	町道中ノ谷線-高台		24.8
		27	須ノ川灘バス停付近	須ノ川1201番地付近	町道灘元越線起点付近		39.2
	柏崎	28	柏崎下常会高台	柏崎349番地付近		(揭示板上、墓地入口電柱根元)	28.2
		29	町道柏崎線終点付近	柏崎754番地	町道柏崎線終点付近		22.6
	柏	30	内海隧道-大浜口公園	柏63番地	国道56号線-町道柏崎大浜線交差点		38.7
		31	内海隧道-北原口	柏249番地4	国道56号線-町道北原トドロ線起点		31.3
		32	法性寺	柏1872番地	町道脇田2号線		20.3
		33	柏寿園駐車場	柏1542番地1	町道小山線		27.6
		34	内海展望所	柏2179番地付近	国道56号線		42.0

津波一時避難場所（令和4年3月4日現在）

地域名	地区名	No.	名称	所在地	路線名等	海拔（m）
御荘	菊川第1	35	外室手バス停付近	御荘菊川17番地付近	国道56号線	58.1
	菊川第3	36	巖島神社境内	御荘菊川3394番地付近	国道56号線	24.0
	菊川第4	37	町道浜銭坪線-高台	御荘菊川2533番地2付近	町道浜銭坪線	35.1
		38	八百坂峠バス停（宿毛方面行）付近	御荘菊川1745番地付近	国道56号線	25.2
	平山	39	国道-町道平山線分岐付近	御荘平山121番地付近	国道56号線-町道平山線	29.9
		40	(財)正光会御荘病院駐車場	御荘平山831番地2	町道川/元線	33.2
		41	延命寺上-農道分岐付近	御荘平山559番地2	農道延命寺線-延命寺3号線分岐	21.2
		42	国道長洲側山頂付近	御荘平山1787番地付近		19.4
	長洲	43	町道長洲寺線終点	御荘長洲1046番地付近	町道長洲寺線	20.2
		44	笹子谷峠付近	御荘長洲271番地	町道長崎長洲線	20.0
	長崎	45	大山祇神社（山の神様）	御荘平城241番地	町道長崎線	25.2
		46	松軒山公園駐車場	御荘平城969番地3	町道峰畑線	44.3
	貝塚	47	来迎寺境内	御荘平城1056番地	（掲示板、墓地最上部）	19.4
		48	秋葉権現さま	御荘平城1144番地	町道貝塚線	22.7
	八幡野	49	テンガンジ高台	御荘平城1405番地	町道八幡野北線	30.8
	馬場	50	御荘霊苑駐車場	御荘平城2579番地1	広域農道	39.1
		51	グループホーム福寿草前	御荘平城2729番地1	町道馬場北線	23.8
	永/岡	52	町営永/岡団地	御荘平城3117番地2	町道永の岡線	40.8
		53	御荘県職員住宅跡地	御荘平城3384番地1	町道永の岡線	51.2
	寺新町	54	光霊苑跡駐車場	御荘平城2409番地	町道火葬場線	20.0
	和口1	55	旧御荘学校給食センター駐車場	御荘和口174番地	町道下畑地線	19.1
	馬瀬	56	はまゆう保育所前バス停付近	御荘平城5268番地3	県道船越平城線	35.3
		57	はまゆう乳幼児保育所駐車場	御荘平城5283番地	町道馬瀬重平線	20.6
		58	町道馬瀬線終点付近上畑	御荘平城5663番地2	町道馬瀬線終点付近	25.3
		59	香木園駐車場階段上	御荘平城5736番地	南レク公園	21.4
	節崎	60	節崎墓地	御荘平城4989番地2付近		33.5
61		県道久良城辺線広場	御荘平城4804番地	県道久良城辺線	28.1	
深泥	62	アキワ様	深泥267-1	町道深泥線	23.0	
	63	町道深泥西谷線終点付近	深泥599番地2	町道深泥西谷線	21.2	
	64	老健施設なんぐん館駐車場	深泥703番地2	（掲示板根元）	24.1	
防城成川	65	町道防城線-高台	防城成川54番地3付近	町道防城線	26.5	
	66	成川県道上	防城成川231-2付近	県道猿鳴平城線	20.4	

津波一時避難場所（令和4年3月4日現在）

地域名	地区名	No.	名称	所在地	路線名等	海拔（m）
御荘	赤水	67	県道沿い一本桜	赤水18-3	県道猿鳴平城線	30.3
		68	赤水深山	赤水394付近	町道深山線	27.7
		69	赤水西組バス停付近	赤水798番地2	県道猿鳴平城線	25.2
		70	冷崎・中ノ谷墓地	赤水777番地	町道赤水本線	26.4
	高畑	71	県道町道合流点	高畑5番地4	町道高畑本線	33.0
		72	とのやぶ	高畑306番地付近	町道名切線	57.4
		73	県道中浦方面-高台	高畑871番地2付近	県道猿鳴平城線	26.3
		74	猿越バス停付近	高畑966番地1	県道猿鳴平城線-町道猿越線交差点	27.3
	尻貝	75	県道猿鳴平城線-高台	中浦6番地7付近	県道猿鳴平城線	23.2
		76	町道尻貝線-尻貝下線分岐付近	中浦159番地2	町道尻貝線-町道尻貝下線分岐点	30.0
		77	県道中浦西海線-中腹広場	中浦355番地5付近	県道中浦西海線	22.4
	奥の谷	78	町道中浦西海線-広場	中浦686番地1付近	町道中浦西海線	22.8
		79	町道奥ノ谷線奥砂防ダム付近	中浦1089番地1付近	町道奥ノ谷線終点付近	22.6
	中の谷	80	桜公園	中浦1231番地1	（揭示板根元）	19.2
	高手	81	町道中浦猿鳴線奥	中浦1337番地1付近		24.0
		82	県道猿鳴平城線灘前方面-高台	中浦1641番地4	県道猿鳴平城線	32.6
	灘前	83	県道平城猿鳴線面浦	中浦1719番地2	県道沿い面浦高台	39.8
		84	樫の浦	中浦1881		23.7
	左右水	85	県道-町道左右水線分岐付近	中浦2053番地付近	県道猿鳴平城線-町道左右水線起点	50.5
	猿鳴	86	県道-町道矢呂線分岐付近	猿鳴54番地3	県道猿鳴平城線-町道矢呂線起点	33.4
87		猿鳴集会所	猿鳴160番地2	県道猿鳴平城線	45.5	
城辺	久保	88	南宇和自動車教習所	城辺甲531番地10	町道松本四号線	26.1
	松本	89	町道太郎谷線広場	城辺甲1632-9	町道太郎谷線	27.8
	北裡	90	諏訪公園	城辺甲2086		32.7
	脇本	91	脇本集会所上町道	脇本637番地付近	町道脇本14号線	25.0
	中玉	92	旧スクールバスバス停	中玉168番地5	主要地方道宿毛城辺線-町道中玉線	43.9
		93	中玉（新谷）県道入口付近	中玉89-2番地付近	荒谷1号線	44.9
	大浜	94	大浜入口道路広場	大浜181番地	町道大浜敦盛線	23.1
	柿ノ浦	95	町道敦盛柿ノ浦線敦盛側高台	柿ノ浦125番地付近	町道敦盛柿ノ浦線	22.4
	敦盛	96	町道敦盛柿ノ浦線柿ノ浦側高台	敦盛522番地付近	町道敦盛柿ノ浦線	25.5
		97	敦盛墓地	敦盛477		41.6
		98	県道大浜方面-高台	敦盛457番地2	主要地方道宿毛城辺線	30.0
99		県道岩水方面上墓地	岩水1483番地1	主要地方道宿毛城辺線	28.9	

津波一時避難場所（令和4年3月4日現在）

地域名	地区名	No.	名称	所在地	路線名等	海拔（m）
城辺	岩水	100	県道敦盛方面-高台	岩水1484番地3付近	主要地方道宿毛城辺線	26.7
		101	東海公民館上墓地	岩水113番地	（揭示板根元）	20.0
		102	岩水テレビ塔登口付近	岩水800番地6	町道岩水中央線-岩水テレビ塔線分岐点	22.5
		103	岩水寺上	岩水1255番地付近		21.5
		104	岩水オガタマの木	岩水1373番地付近		43.3
		105	旧東海小学校前高台	岩水45番地付近	（2段目広場、階段手摺付近）	28.5
	垣内	106	垣内東	垣内372番地		20.2
		107	県道宿毛城辺線蓮乗寺方面広場	垣内238番地付近	主要地方道宿毛城辺線	20.8
	東浜	108	蘇家神社	深浦42番地2		40.9
	奥前	109	西光寺	深浦1093番地	町道西ヶ峰線	22.1
		110	万福寺駐車場	深浦386番地付近	町道深浦2号線終点	21.3
	鼻前	111	町道深浦7号線-山側高台	深浦1782番地付近		20.7
	鱈越	112	鱈越トンネル鱈越口付近	鱈越114番地3付近		30.0
	古月	113	町道古月線高台	古月121番地付近	町道古月線	25.2
		114	古月東神社	古月195番地	町道古月線	35.3
	日土	115	日土峠道路	久良164番地付近	県道久良城辺線	44.9
		116	日土墓上道路	久良262番地付近	主要地方道城辺高茂岬線	52.5
		117	小屋/浦墓場里道	久良630番地3付近		24.9
		118	小屋/浦竜王先道路	久良719番地6	町道日土小屋ノ浦線-久良峠小屋ノ浦線終点	31.3
	大寿浦	119	元駐在所	久良848番地	県道久良城辺線-町道枝折線	36.5
		120	和霊さま下道路	久良1032番地付近	県道久良城辺線	22.5
121		墓場高台里道	久良1300番地		26.7	
真浦	122	真浦高台里道	久良1416番地付近		22.0	
西真浦	123	久良小学校	久良2035番地付近	町道久良小学校線	22.3	
新浦	124	水谷県道-高台	久良2283番地付近		19.6	
	125	高良ダム根元	久良2681番地付近		29.2	
	126	春日神社境内	久良2868番地		19.8	
	127	広谷高台里道	久良3369番地付近		19.5	
	128	網代墓地	久良3667番地付近		41.2	
	129	コモズラ墓場里道	久良3708番地	（墓地最上部）	19.7	
	130	コモズラ山の神様	久良3829-1		32.6	
	131	鹿ノ谷墓地下	久良3960番地	県道久良城辺線	32.8	

津波一時避難場所（令和4年3月4日現在）

地域名	地区名	No.	名称	所在地	路線名等	海拔（m）
一本松	満倉	132	自在園入口付近	満倉2300番地5付近	国道56号線	23.4
		133	中川隧道中川口付近	中川784番地1付近	町道茶道2号線	44.7
		134	農道西谷線高台	満倉1745番地5		28.0
		135	善林寺	満倉2842番地		20.0
		136	踊り駄場	満倉2756番地		23.6
		137	満倉浜組2	満倉2893番地付近		30.8
西海	越田	138	町道弓立越田線-高台	越田296番地付近	町道弓立越田線	29.7
	弓立	139	町道弓立大滝線-高台	弓立126番地付近	町道弓立大滝線	29.5
	小浦	140	町道榎月小浦線-高台	小浦46番地3付近	町道榎月小浦線	23.0
	榎月	141	町道榎月小浦線-榎月奥谷線接点付近	榎月85番地2付近	町道榎月小浦線-榎月奥谷線接点	26.1
		142	西海保健福祉センター	榎月212番地1		57.6
	船越	143	旧JA西海給油所前	船越442番地	県道船越平城線	28.0
		144	船越小学校	船越1268番地1	町道広浦学校線	25.5
		145	新竹倉バス停付近	船越160番地付近	県道船越平城線	78.5
	久家	146	西海トンネル-久家口広場	久家337番地1付近	県道高茂岬船越線	30.0
	下久家	147	秋葉神社付近	下久家128番地	町道下久家奥谷線	25.2
	樽見	148	県道高茂岬船越線若宮神社付近高台	樽見270番地付近	県道高茂岬船越線	42.0
		149	福浦側樽見バス停前	樽見630番地2付近	町道樽見奥線	32.5
	大成川	150	県道樽見方面-高台	樽見708番地付近	県道高茂岬船越線-樽見方面高台	21.4
		151	ゲートボール場上高台	大成川525番地	町道大成川谷線終点付近	24.0
		152	町道大成川谷線東側高台	大成川249番地	町道大成川谷線終点付近	22.7
	小成川	153	町道小成川谷線終点付近	小成川299番地付近	町道小成川線	22.4
福浦	154	柿崎高台	福浦142番地		19.0	
	155	町道大簗線-新岡山川線分岐付近	福浦317番地付近	町道大簗線-新岡山川線終点付近	34.7	
	156	町道大簗線-岡山小川大簗線分岐付近	福浦504番地付近	町道大簗線-岡山小川大簗線分岐点	23.4	
	157	太駄高台	福浦693番地		19.1	
	158	若宮神社公園上高台	福浦1020番地付近		22.5	
	159	町道福浦扇山線終点付近	福浦1362番地付近	町道福浦扇山線終点	30.6	
	160	東高台	福浦1440番地		18.9	
	161	町道中下和田内線中下高台	福浦1674番地		24.4	
	162	和田内福浦側川沿い里道高台	福浦1907番地付近		20.5	

津波一時避難場所（令和4年3月4日現在）

地域名	地区名	No.	名称	所在地	路線名等	海拔（m）
西海	麦ヶ浦	163	町道麦ヶ浦西谷線終点付近	麦ヶ浦53番地付近	町道麦ヶ浦西谷線終点	21.8
		164	庵寺墓地高台	麦ヶ浦169番地付近	町道麦ヶ浦東谷線終点	20.2
	武者泊	165	武者泊バス停付近	武者泊412番地付近	県道高茂岬船越線	46.0
		166	県道-町道武者泊線分岐付近	武者泊545番地2付近	県道高茂岬船越線-町道武者泊線起点	40.0
	外泊	167	県道高茂岬方面高台	外泊44番地付近	県道高茂岬船越線	24.6
		168	外泊川右岸高台畑	外泊441番地	（揭示板上、手摺り終点）	37.6
	中泊	169	県道中峰橋付近	中泊706番地付近		44.3
		170	県道-町道中外線分岐付近	中泊951番地付近	主要地方道城辺高茂岬線-町道中外線起点	27.3
	内泊	171	西浦中学校跡地	内泊8番地1	町道女呂線終点	29.7
		172	地藏堂付近	内泊767番地	町道内泊奥川線	22.0
		173	県道船越方面-高台	内泊1407番地付近	主要地方道城辺高茂岬線	24.0

愛南町津波避難ビル

指定日	施設名称	所在地	構造等	建築年	耐震診断の評価	避難場所	最大収容人数	避難経路	入口
平成26年12月9日	伊予銀行愛南寮	愛南町御荘平城2186	RC造	H26	新耐震基準	屋上 113㎡	約113人	施設内階段1箇所	施設入口1箇所
平成27年1月23日	青い国ホテル	愛南町御荘平城3929-3	鉄骨造	H15	新耐震基準	4~5階廊下 75㎡ 6階、屋上 222㎡	約297人	施設内階段1箇所	施設正面入口 北側非常階段
平成27年3月17日	御荘中学校普通教室棟	愛南町御荘平城3787	RC造	S54	耐震補強済み	3階廊下 135㎡	約135人	施設内階段2箇所	4箇所

L1津波 地区ごとの避難者収容計画



縮尺 1:70,000

地域の色分け
 内海地域
 御荘地域
 城辺地域
 西海地域
 一本松地域

【内海地域】

避難対象地区		避難先	避難者数(人)	避難者数(人)	空き収容人数(人)
No	地区名	No	避難所名		
①	磯代	L	一本松小学校	330	265
②	魚神山				
③	油浜				
④	家津				
⑤	平島				
⑥	親ノ川	M	一本松交流保健センター	541	263
⑦	相崎				
⑧	相				

【城辺地域】

避難対象地区		避難先	避難者数(人)	避難者数(人)	空き収容人数(人)
No	地区名	No	避難所名		
①	久保	H	城の辺学習館	6	193
②	藤本			8	
③	中玉	I	東海公民館中五分館	17	56
④	大浜			9	
⑤	布ノ浦			8	
⑥	敦盛			36	
⑦	若水	F	城辺小学校	430	720
⑧	堀内			120	
⑨	駒越			58	
⑩	古月			32	
⑪	東浜			93	
⑫	中根	J	あいなん幼稚園	205	7
⑬	家前			7	
⑭	西浜			36	
⑮	真祈			46	
⑯	日土			78	
⑰	大寿浦	K	久良小学校	72	27
⑱	粟浦			53	
⑲	西草浦			85	
⑳	新浦			184	

【御荘地域】

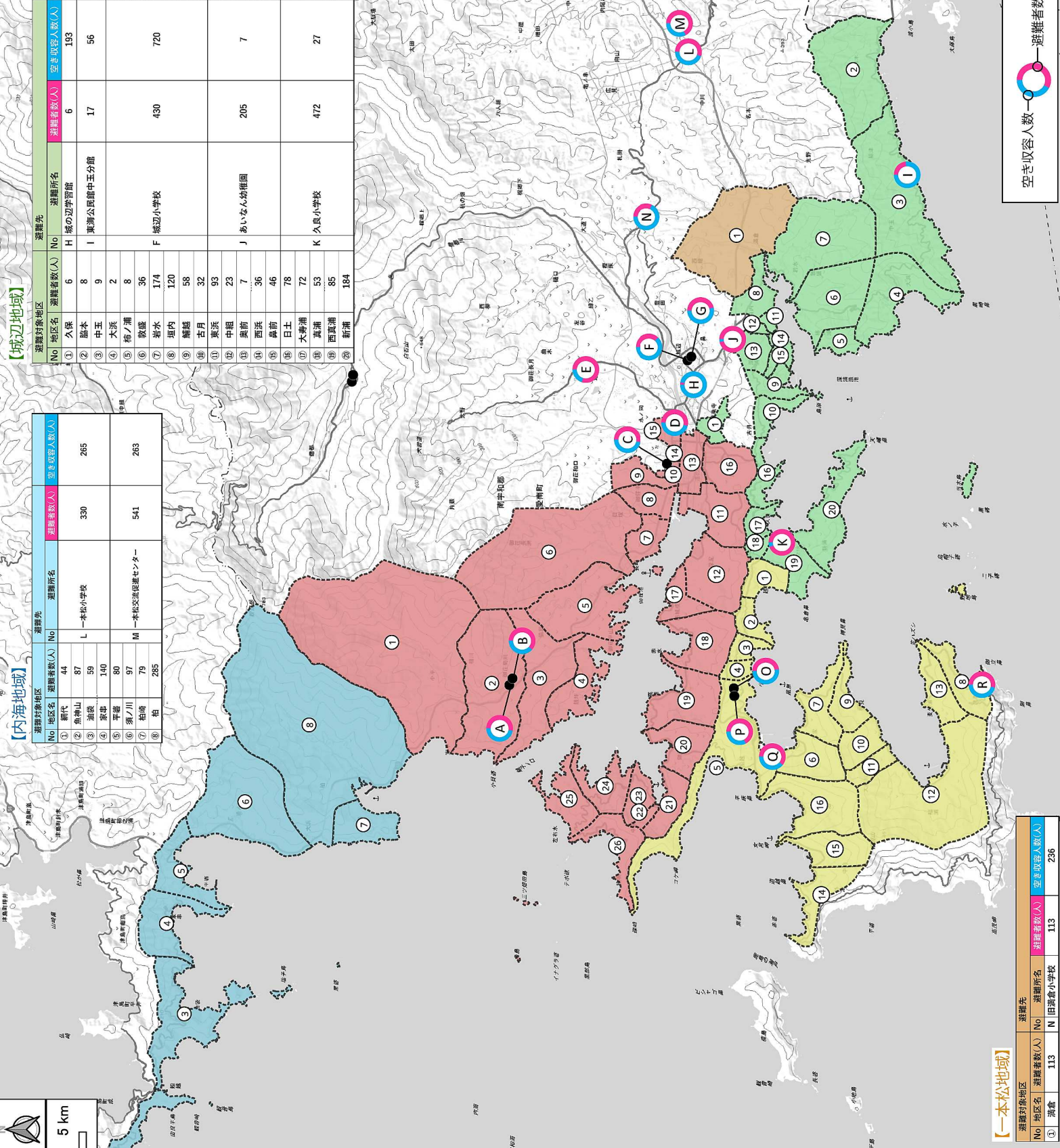
避難対象地区		避難先	避難者数(人)	避難者数(人)	空き収容人数(人)
No	地区名	No	避難所名		
①	菊川第1	B	菊川公民館	42	26
②	菊川第2				
③	菊川第3	A	旧菊川小学校	203	180
④	菊川第4				
⑤	平山			102	
⑥	長洲	E	長月小学校	448	112
⑦	長崎			341	
⑧	目録			161	
⑨	八幡野	C	平塚小学校	591	520
⑩	本町			61	
⑪	馬瀬			268	
⑫	深泥			79	
⑬	栄町			754	
⑭	上町	D	南学和高校	899	766
⑮	下永ノ岡			0	
⑯	節崎			145	
⑰	防堀成川			16	
⑱	赤水			94	
⑲	高畑			90	
⑳	居貝			71	
㉑	奥の谷	G	城辺中学校	529	609
㉒	中の谷			39	
㉓	高手			58	
㉔	瀬前			15	
㉕	左右水			8	
㉖	猿鳴			6	

【西海地域】

避難対象地区		避難先	避難者数(人)	避難者数(人)	空き収容人数(人)
No	地区名	No	避難所名		
①	磯田	O	西海保健福祉センター	96	104
②	弓立			28	
③	小浦			22	
④	榎月			21	
⑤	船越	Q	船越小学校	362	233
⑥	久家			87	
⑦	下久家	R	瀬田公民館若者泊分館	54	39
⑧	波舟泊			45	
⑨	神見			47	
⑩	大磯川			36	
⑪	小磯川	P	旧西海中学校	641	308
⑫	船浦			332	
⑬	粟ノ浦			22	
⑭	外泊			36	
⑮	中泊			58	
⑯	内泊			66	

【一本松地域】

避難対象地区		避難先	避難者数(人)	避難者数(人)	空き収容人数(人)
No	地区名	No	避難所名		
①	海倉	N	旧海倉小学校	113	236

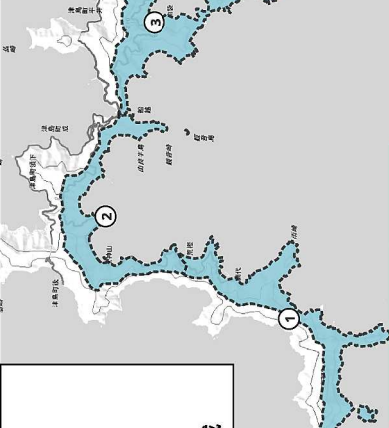


空き収容人数 — 避難者数

L2津波 地区ごとの避難者収容計画

縮尺 1:85,000
0 2.5 5 km

地域の色分け
 ■ 内海地域
 ■ 御荘地域
 ■ 城辺地域
 ■ 西海地域
 ■ 一本松地域



【御荘地域】

No	地区名	避難者数(人)	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	菊川第1	33	B 菊川公民館	42	26
②	菊川第2	9			
③	菊川第3	88			
④	菊川第4	79	A 旧菊川小学校	321	62
⑤	平山	154			
⑥	長洲	138			
⑦	兵崎	427	E 長月小学校	565	-5
⑧	貝塚	207			
⑨	八幡野	135			
⑩	本町	154			
⑪	寺前町	52	C 平城小学校	1,057	54
⑫	黒瀬	403			
⑬	深泥	106			
⑭	栄町	838			
⑮	上町	170			
⑯	馬場	56			
⑰	下永ノ岡	291	D 兩字相高校	1,645	20
⑱	上永ノ岡	0			
⑲	藤崎	290			
⑳	和口第1	0			
㉑	防城成川	24			
㉒	赤水	112			
㉓	高畑	103			
㉔	原貝	95			
㉕	奥の谷	151			
㉖	中心の谷	46			
㉗	高手	69			
㉘	瀬前	22			
㉙	左右水	14			
㉚	茶崎	9			

【西海地域】

No	地区名	避難者数(人)	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	扇田	32			
②	石立	41			
③	小浦	25	O 西海保健福祉センター	116	84
④	飯舟	27			
⑤	船越	316			
⑥	久敷	109			
⑦	下久敷	61			
⑧	梅原	68	Q 船越小学校	454	141
⑨	本郷川	45			
⑩	小沢川	56			
⑪	梅浦	475			
⑫	兼ヶ浦	28			
⑬	武蔵泊	75	P 旧西海中学校	823	126
⑭	外泊	52			
⑮	外泊	46			
⑯	中泊	146			
⑰	内泊	83			

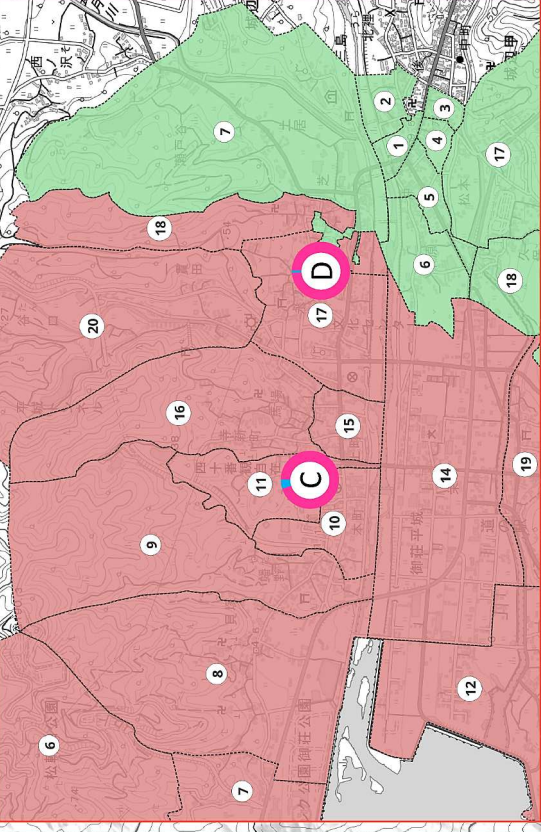
【一本松地域】

避難対象地区	避難先	避難者数(人)	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
① 兼倉	N 旧兼倉小学校	151		151	198

【内海地域】

No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	額代	44				
②	魚神山	87	L	一本松小学校	330	265
③	油袋	59				
④	家集	140				
⑤	平釜	80				
⑥	須ノ川	97	M	一本松交流促進センター	541	263
⑦	柏崎	79				
⑧	柏	285				

【城辺地域】



【城辺地域】

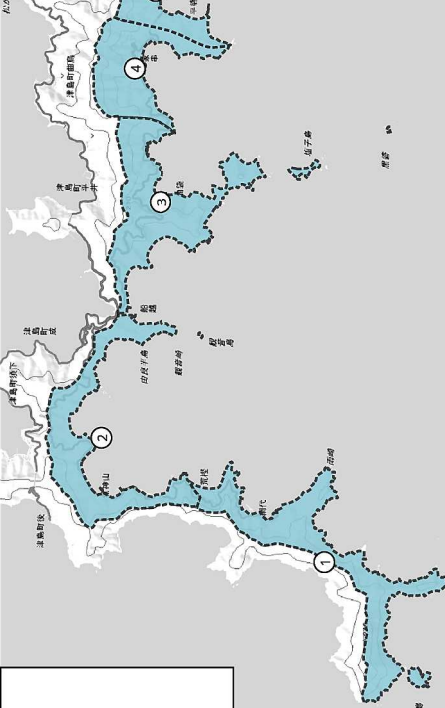
No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	後2	18				
②	後3	6				
③	清水	8				
④	沖1	19				
⑤	沖2	130				
⑥	中辰	254				
⑦	土屋	24				
⑧	藍本	39	F	城辺小学校	1,039	111
⑨	中玉	15				
⑩	大浜	4				
⑪	桶ノ浦	10				
⑫	敬盛	46				
⑬	岩水	218				
⑭	堀内	134				
⑮	磯越	74				
⑯	吉月	40				
⑰	松本	58				
⑱	久保	51	H	城の辺学習館	124	75
⑲	島越	15				
⑳	東浜	104				
㉑	中組	23				
㉒	奥前	15	J	あいなん幼稚園	230	-18
㉓	西浜	36				
㉔	赤前	52				
㉕	日土	100				
㉖	大赤浦	92				
㉗	東浦	67				
㉘	西真浦	109	K	久良小学校	599	-100
㉙	新浦	231				

空き収容人数 避難者数

臨時情報(巨大地震警戒)発表時 地区ごとの避難者収容計画

縮尺 1:70,000
0 2.5 5 km

- 地域の色分け
- 内海地域
 - 御荘地域
 - 城辺地域
 - 西海地域
 - 一本松地域



避難対象地区		避難先				
No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	網代	74	L	一本松小学校	514	81
②	魚神山	146	M	一本松交流促進センター	874	-70
③	油袋	119				
④	粟串	175				
⑤	平豊	160				
⑥	須ノ川	139				
⑦	柏崎	99				
⑧	柏	476				

避難対象地区		避難先				
No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	福本	44	F	城辺小学校	597	553
②	中玉	15				
③	大兵	7				
④	柿ノ浦	10				
⑤	敦盛	46				
⑥	岩水	218				
⑦	垣内	134				
⑧	船越	83				
⑨	古月	40				
⑩	東浜	104				
⑪	中組	29	J	あいなん幼稚園	378	-166
⑫	奥前	157				
⑬	西浜	36				
⑭	鼻前	52				
⑮	日土	112				
⑯	大壽浦	103				
⑰	真浦	67				
⑱	西真浦	122				
⑳	新浦	231				
			K	久良小学校	635	-136

【御荘地域】

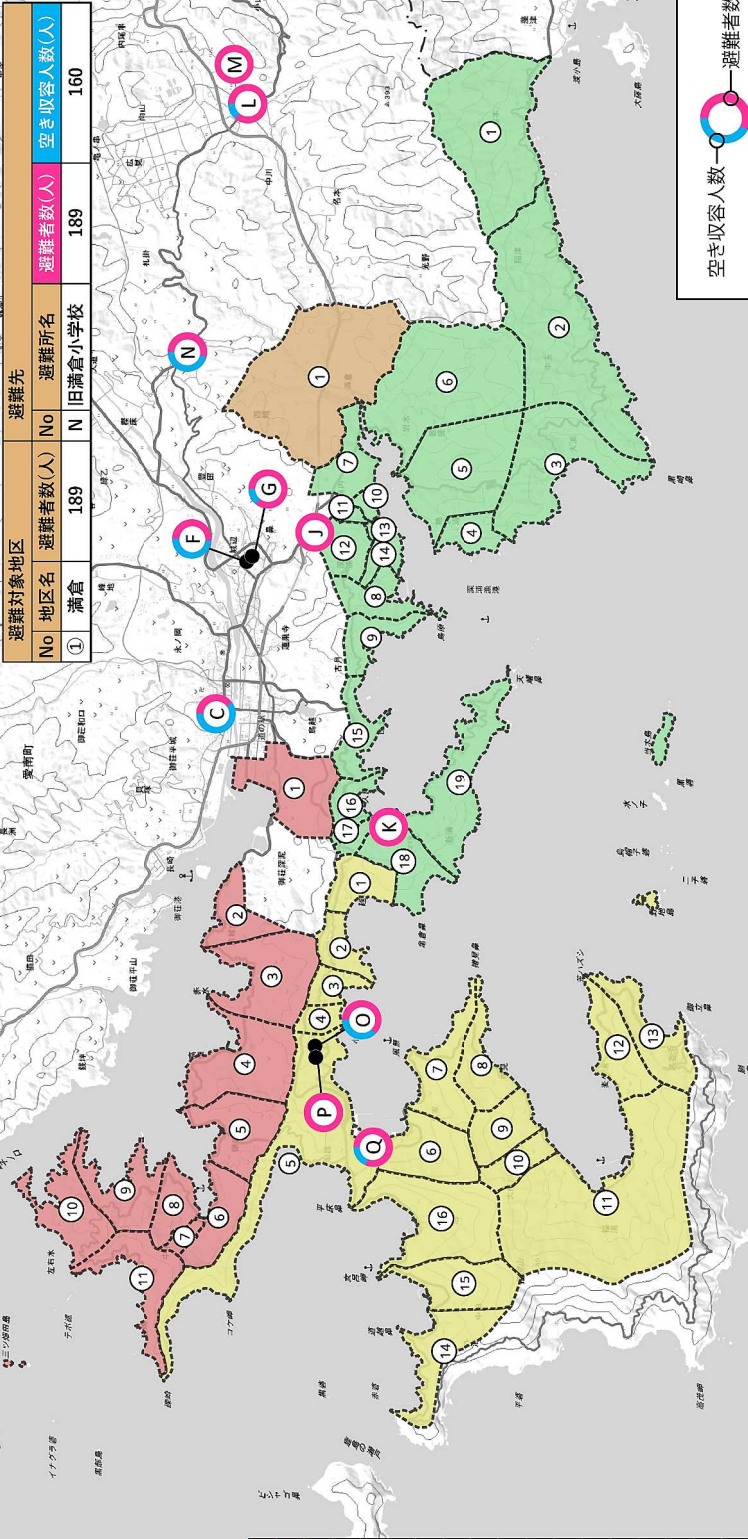
避難対象地区		避難先				
No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	馬瀬	448	C	平城小学校	448	663
②	防城成川	82				
③	赤水	188				
④	高畑	129				
⑤	尻貝	119				
⑥	奥の谷	189	G	城辺中学校	979	159
⑦	中の谷	66				
⑧	高手	116				
⑨	瀬前	38				
⑩	左右水	29				
⑪	猿鳴	23				

【一本松地域】

避難対象地区		避難先				
No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	満倉	189	N	旧満倉小学校	189	160

【西海地域】

避難対象地区		避難先				
No	地区名	避難者数(人)	No	避難所名	避難者数(人)	空き収容人数(人)
①	越田	32				
②	弓立	41	O	西海保健福祉センター	125	75
③	小浦	25				
④	櫻月	27				
⑤	船越	316				
⑥	久家	109	Q	船越小学校	486	109
⑦	下久家	61				
⑧	精見	68				
⑨	大成川	45				
⑩	小成川	56				
⑪	福浦	475	P	旧西海中学校	1,028	-79
⑫	麦ヶ浦	28				
⑬	武者泊	75				
⑭	外泊	52				
⑮	中泊	146				
⑯	内泊	83				



空き収容人数 - 避難者数

津波避難者収容計画 避難者収容施設一覧

NO		名称 (施設名)		計画収容 人数
1	A	旧菊川小学校	愛南町御荘菊川1157	383
2	B	御荘農村研修センター（菊川公民館）	愛南町御荘菊川1159-1	68
3	C	平城小学校	愛南町御荘平城2332	1,111
4	D	南宇和高校	愛南町御荘平城3269	1,665
5		旧御荘学校給食センター	愛南町御荘和口174	68
6	E	長月小学校	愛南町御荘長月913-1	560
7		僧都ふれあい交流館（僧都公民館）	愛南町僧都279	81
8		僧都小学校	愛南町僧都262	330
9		緑小学校	愛南町緑乙3231	473
10		緑基幹集落センター（緑公民館）	愛南町緑乙1514	150
11		大森文化会館	愛南町城辺甲2962	49
12	F	城辺小学校	愛南町城辺甲2707	1,150
13	G	城辺中学校	愛南町城辺甲2707	1,138
14	H	城の辺学習館	愛南町城辺甲1943	199
15	I	東海公民館中玉分館	愛南町中玉303	73
16	J	あいなん幼稚園	愛南町深浦3	212
17	K	久良小学校	愛南町久良2035	499
18		一本松山村開発センター（一本松公民館）	愛南町一本松3520	217
19	L	一本松小学校	愛南町一本松5121-1	595
20	M	一本松交流促進センター	愛南町増田5259-3	804
21		篠山小中学校	愛南町正木1276-1	567
22	N	旧満倉小学校	愛南町上大道683	349
23		一本松ふるさと生活館	愛南町一本松338-2	25
24		増田コミュニティセンター	愛南町増田3148	90
25		中川コミュニティセンター	愛南町中川957-1	62
26		広見コミュニティセンター	愛南町広見1648-1	96
27	O	西海保健福祉センター	愛南町桴月212-1	200
28	P	旧西海中学校	愛南町船越1	949
29	Q	船越小学校	愛南町船越1268	595
30	R	福浦公民館武者泊分館	愛南町武者泊615	84
合計				12,842